

その上で領土交渉をしつかりと管政権でも行っていきたくいと伝えたい」と述べた。

三重・松阪市長 グランプリ受賞

マニフェスト大賞

第5回マニフェスト大賞(審査委員長・北川正恭早稲田大マニフェスト研究所長)の表彰式が5日、都内であつ

た。首長部門は三重県松阪市の山中光茂市長が、地方議会部門は埼玉県川口市の自民党川口市議会議員団がそれぞれグランプリを受賞した。

山中市長は公約の実施状況や見通しを「マニフェスト・レポート」に示した点が、自民党川口市議団は来年の市議選に向けて新たな党派マニフェストを作成した点が評価された。神奈川県立麻生高校は、参院選を前にした模擬投

票などの取り組みでマニフェスト推進最優秀賞を受けた。そのほかの主な受賞は以下の通り。(敬称略)

最優秀成果賞 千葉県流山市議会、鳥取県倉吉市議会12人の議員有志▽最優秀政策提言賞 東京都足立区議・長谷川貴子、神奈川県議・菅原直敏▽最優秀コミュニケーション賞 石川県加賀市議・室谷弘幸▽最優秀議会改革賞 三重県議会

自民川口市議団ら大賞

地方議会議員をつくる「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」(共同代表・佐藤邦夫岩手県奥州市議)などは5日、優れた政策を提言・実行した地方議会の会派や首長らを表彰する「マニフェスト大賞」の授賞式を都内で開き、大賞に自由民主党川口市議会議員団と山中光茂三重県松阪市長を選んだ。

議会部門では、各議員の議案に対する賛否をホームページで公表

ローカル・マニフェスト

するなどしている三重県議会が最優秀議会改革賞に選出された。市民部門では、神奈川県立麻生高校がマニフェスト推進最優秀賞を受賞。生徒が作ったマニフェストを今年の参院選候補に送付するなどの取り組みが評価された。

マニフェスト大賞は2006年、地方自治体の議員や首長の活動を紹介するために創設され、5回目の今回は計1540件の応募があった。

